

IT 資格道場

CompTIA A+ (Core 1・Core 2) 学習用テキスト

予備知識ゼロから合格ラインへ —— 読んで理解する1冊目

無料サンプル(第1章まで)

CompTIA A+ Core 1 (220-1201)・Core 2 (220-1202) Exam Objectives Version 4.0
(V15) 準拠
2026年10月版

ご利用にあたって

- このテキストは「IT資格道場」(www.shikaku-doujou.com)の購入者限定テキストのうち、学習用テキストの第1章までを収録した**無料サンプル**です。どなたでもご覧いただけます。
- 無料サンプルも著作物です。転載・改変しての再配布・二次販売はできません。
- AI モデルの学習データとしてのご利用(学習目的の入力・データセット化を含む)はできません。
- 製品版(学習用テキスト・頻出度別ノート・暗記用ノートの3点)は、ご購入者を識別できる透かし入りのPDFとして提供されます。
- 本PDFはスマートフォン・タブレットでの閲覧に合わせたA5版面・文字サイズで組版しています。

目次

この教材の狙いとA+ の性格

第1章 Core 1 1.0 Mobile Devices [1201-1.1/1201-1.2/1201-1.3]

この章の配点と問われ方

モバイルデバイスの部品と交換 [1201-1.1]

アクセサリーと接続方式 [1201-1.2]

回線・Bluetooth・位置情報・MDM・同期の設定 [1201-1.3]

サンプルはここまでです

3冊の使い方は、ダウンロード欄の案内を参照してください。

SAMPLE

この教材の狙いと A+ の性格

このテキストの目的は、IT サポートの入門資格 **CompTIA A+** の合格です。試験コードは 220-1201 (Core 1) と 220-1202 (Core 2)、どちらも V15 の版。

A+ は 2 つの試験の両方に合格して取得します。受ける順番は自由ですが、同じ版で受ける決まりです。

項目	Core 1 (220-1201)	Core 2 (220-1202)
中身	ハードウェア・ネットワーク・モバイル・仮想化とクラウド・トラブルシューティング	OS・セキュリティ・ソフトウェアのトラブルシューティング・運用手順
合格点	675 (100～900)	700 (100～900)
問題数・時間	最大 90 問・90 分	最大 90 問・90 分
本テキストの章	第 1～5 章	第 6～9 章

読み方の目印は次の 3 つ。

- 出題の形：択一・複数選択・ドラッグアンドドロップ・パフォーマンスベース問題 (PBQ)
- 章の冒頭：その分野の配点 (重い分野から固めると点が伸びる)
- 見出しの末尾：公式の出題範囲の細目の番号 (例：1201-2.1)

第1章 Core 1 1.0 Mobile Devices [1201-1.1/1201-1.2/1201-1.3]

この章の配点と問われ方

この章は Core 1 の配点の 13% にあたります。範囲は 3 つです。ノート PC やスマートフォンの部品と交換、接続方式とアクセサリーの違い、回線・Bluetooth・MDM・同期の設定です。部品の名前から交換時の注意を言えること、症状から接続の原因を絞れること。この 2 つができれば、この分野の問いは解けます。

モバイルデバイスの部品と交換 [1201-1.1]

この節の到達点は、部品ごとに「見分け方」と「交換時の注意」と「壊れた時の症状」を言えることです。対象は、バッテリー、キーボード（キー）、RAM、HDD/SSD、無線カード、生体認証、近距離無線のスキャナー機能、Wi-Fi アンテナ、カメラ（ウェブカメラ）、マイクの 10 部品です。

バッテリー [1201-1.1]

モバイル機器のバッテリーは、リチウムイオン(Li-ion)か、その派生のリチウムポリマー (Li-Po) です。Apple は iPhone の電池をリチウムイオンと説明し、iPhone 14 以前の機種は充電 500 回の時点で元の容量の 80% を保つ設計だと書いています[^c1-1]。使うほど容量が落ちるので、「半日しか持たなくなった」という症状の第一の疑いは電池の劣化です。

劣化が進むと、内部でガスがたまって電池が膨らむことがあります。この状態を膨張 (swollen) と呼びます。膨らんだ電池は発火の危険があり、充電も使用も止めて交換します。尖った物で押したり穴を開けたりしてはいけません。症

状は、背面カバーが浮く、画面が本体から持ち上がる、ノート PC のトラックパッドが押しにくくなる、本体が机の上でぐらつく、の形で出ます。外した電池は一般ごみに出さず、電池の回収に出します(店頭の回収箱や自治体の回収)。

交換のしやすさは機種で違います。スマートフォンは接着剤で固定された内蔵電池が多く、引っ張ると剥がれる粘着テープが付いた機種もあります。ノート PC は、底面を外して電池をネジで固定する内蔵型と、ユーザーが外せる着脱型があります。どちらも作業前に電源を切り、AC アダプターを外します。

場面で確かめる。3 年使ったノート PC のトラックパッドが急に押せなくなり、底面がわずかに膨らんでいる場合は、電池の膨張です。使用と充電を止め、AC アダプターを外し、電池を交換します。トラックパッドの交換や OS の再インストールでは直りません。

キーボードと RAM [1201-1.1]

ノート PC のキーボードは、機種によって上面カバーと一体に組み込まれています。この場合、キー 1 個の故障でも、キーボード全体か上面カバーごとの交換になります。キーボードは細いリボンケーブルでマザーボードにつながります。外すときはコネクターのロックを先に解除します。ロックを残したまま引くと、ケーブルが裂けてしまいます(ケーブルは部品ごとの交換)。

症状から原因を分けます。1 個のキーだけが反応しないなら、キーの下のごみやこぼした液体を疑います。複数のキーが一斉に効かない場合や、全く反応しない場合は、ケーブルの接触を疑います。外付けキーボードで入力できるなら、故障は内蔵キーボード側です。

RAM は、ノート PC では SODIMM (Small Outline DIMM) という小型のモジュール。デスクトップ用の DIMM より短く、ノート PC のスロットに差します。DDR4 と DDR5 は切り欠きの位置が違うので、世代の違う物は物理的に入り

ません。薄型ノート PC、スマートフォン、タブレットでは RAM が基板に直付けされていて、増設も交換もできない機種が多くあります。SODIMM は斜めに差し込み、カチッと音がするまで倒して固定します。触る前に静電気を逃がします(金属部分に触れる、静電気防止バンドを付ける)。

HDD/SSD と無線カード [1201-1.1]

ノート PC の記憶装置は、形状で 3 種類に分かれます。

- **2.5 インチ HDD:** 回転する円盤を持つ。衝撃に弱く、動作音があり、遅い。
- **2.5 インチ SATA SSD:** 半導体メモリー。HDD と同じ大きさで、そのまま入れ替えられる。
- **M.2 SSD:** 小さな基板状。スロットに斜めに差し、ネジで固定する。

M.2 の長さは型番で表します。2280 は幅 22 mm・長さ 80 mm、2242 は長さ 42 mm、2230 は長さ 30 mm です。ノート PC が受け付ける長さは、基板上の固定ネジの穴の位置で決まります。HDD から SSD に換えると、起動と読み書きが速くなり、音と消費電力が下がり、衝撃にも強くなります。交換後は OS の入れ直しや、クローン(中身の複製)が必要です(どちらも作業前にバックアップ)。スマートフォンとタブレットの記憶装置は基板に直付けで、利用者が交換する前提ではありません。

無線カード(Wireless cards)は、ノート PC の内部にある Wi-Fi と Bluetooth を兼ねた小さな基板です。現在の機種は M.2 形状(2230・E キー)が主流で、古い機種は Mini PCIe という別の形状でした。交換するときは、先にアンテナ線を外します。線を付けたまま基板を引くと、細い線が切れます。Wi-Fi が突然つながらなくなった、Bluetooth だけが消えた、という症状では、カードの緩みや故障を疑います。

Wi-Fi アンテナのコネクターと配置、カメラ、マイク [1201-1.1]

ノート PC の Wi-Fi アンテナは、多くの機種で画面の枠（ベゼル）の中や画面の周囲を通っています。細い同軸ケーブルが画面からヒンジを通して本体側へ降り、無線カードの小さな丸いコネクターに差さる配置が基本。コネクターは爪でかぶせるだけの小型の物で、まっすぐ上に抜きます。斜めに引くと折れます。

画面や無線カードを交換したあとに電波が極端に弱くなったら、アンテナ線の差し忘れ、差し間違い、外れかけを疑います。線は 2 本あり、主 (Main) と補助 (Aux) に分かります。1 本だけ差さっていても通信はできるが、速度と届く範囲は落ちる (1 本だけの状態)。

カメラとウェブカメラは、ノート PC では画面の上の枠にあり、画面部品と一体で扱う機種が多くあります。スマートフォンのカメラは前面と背面で別のモジュールで、故障した側だけを交換します。映像が出ない場合は、フレキシブルケーブルの接触不良、OS のアプリの権限、プライバシーシャッターの閉じ忘れを順に確かめます。

マイクも画面の上の枠か、本体の小さな穴の奥にあります。音が小さい、相手に声が届かない、という症状は、穴のふさがり、OS の入力デバイスの選択、アプリの権限が原因になりやすく、部品の故障は最後に疑うこと。

物理的なプライバシーとセキュリティの部品 [1201-1.1]

試験は 2 つの部品群を挙げています。1 つ目は生体認証 (Biometrics) で、指紋 (Touch ID、電源ボタンや側面の指紋リーダー) と顔 (Face ID、Windows Hello の赤外線カメラ) です。Apple は、iPhone の Touch ID が指紋の画像ではなく数学的な表現だけを暗号化して端末内に保存し、Secure Enclave という仕組みで守り、Apple のサーバーや iCloud には保存しないと説明しています[^c1-2]。指紋は、指が濡れていたり傷があったりすると読み取れません。顔認証は、カメラの汚れや強い逆光で認証に失敗します。失敗した場合の代

わりの手段は PIN かパスワードです。汚れを拭き、登録し直しても失敗が続くなら、センサーの故障を疑い、修理までは PIN かパスワードで使う。

2 つ目は近距離無線のスキャナー機能 (Near-field scanner features)、つまり NFC のリーダーです。スマートフォンの背面の内側にコイルがあり、カードやタグにかざして読み取ります。用途は決済、交通系カード、ペアリングの簡略化 (Bluetooth の相手の指定)。NFC は 13.56 MHz を使い、距離は数 cm です。NFC Forum は典型的な通信距離を最大約 2 cm、認証試験で確かめる距離を 5 mm としています[^c1-3]。

物理的な部品には、ほかに 3 つあります。横からののぞき見を防ぐプライバシーフィルター、ウェブカメラを物理的にふさぐカバー、社員証などを読むスマートカードリーダーです。ソフトウェアの設定とは別に、手で触れる形で守る部品です。

交換作業の段取りと場面 [1201-1.1]

交換の作業は、順序が決まっています。まず電源を切り、AC アダプターを外す。着脱型の電池は先に外します。次に、静電気防止バンドを付けるか、金属部分に触れて静電気を逃がします。ネジは取り外した場所ごとに小皿や磁気マットに分けて置きます。長さの違うネジを取り違えると、基板を傷つけます。ケーブルのコネクタは、ロックのある物は先にロックを解除する(引く前に)。プラスチックのヘラで筐体を開け、金属の工具で基板をこじりません。

場面で確かめる。薄型ノート PC で RAM を増設したい場合は、まず SODIMM のスロットがあるかを調べます。基板に直付けの機種は増設できず、買い替えか、増設可能な機種への交換になります。スロットがあれば、DDR の世代 (DDR4 か DDR5) と容量の上限を、メーカーの仕様で確かめてから買います。

画面を交換したあとに Wi-Fi の電波が弱くなった場合は、画面と本体をまたぐアンテナ線の差し忘れか外れかけが原因で、差し直せば直ります。カードと基板を交換し直す必要はありません。M.2 の SSD を 2280 から交換する時は、基板上の固定位置（スタンドオフ）に合う長さを買います。位置に合わない長さのモジュールは固定できません。

指紋認証が突然失敗するようになった場合は、まず指と読み取り面の汚れや水分を拭き取ります。直らなければ、指紋を登録し直します。登録し直してもだめなら、センサーの故障を疑いますが、そのあいだは PIN カパスワードで使えます。

膨らんだスマートフォンを見つけた場合は、充電を止め、電源を切れるなら切り、燃えやすい物から離して置きます。自分で電池を押したり穴を開けたりせず、メーカーか回収窓口へ（持ち込みか郵送）。

アクセサリと接続方式 [1201-1.2]

有線の接続方式 [1201-1.2]

モバイル機器に使う有線の端子は、次の 5 つを見分けます。

- **USB-A:** 平たい長方形。PC やアダプター側に付く。
- **mini-USB:** 台形の小型端子。古いデジタルカメラや GPS 機器に付く。
- **micro-USB:** 薄い台形。旧型の Android 端末に多い。
- **USB-C:** 裏表のない小さな楕円形。
- **Lightning:** Apple 独自の 8 ピン端子で、裏表がない。iPhone 15 以降は USB-C に変わった。

USB-C はコネクターの形です。速度や給電の力は、形とは別の規格で決まります。USB-IF は USB-C を、上下も向きも問わずに差せる薄型のコネクター

で、USB の機能を保ったまま電力と性能を伸ばせる規格だと説明しています [^c1-4]。映像 (DisplayPort など) を運べるかは、ポートごとの対応で決まります。同じ形のポートでも、USB 2.0 の 480 Mbps から USB 3.2 の 20 Gbps、さらに USB4 (USB-IF は最大 80 Gbps の動作を示す) まで幅があります。Lightning は多くの機種で USB 2.0 並みの速度です。

規格	理論上の最大速度	通称
USB 2.0	480 Mbps	Hi-Speed
USB 3.2 Gen 1	5 Gbps	5Gbps
USB 3.2 Gen 2	10 Gbps	10Gbps
USB 3.2 Gen 2x2	20 Gbps	20Gbps

USB-IF は USB 3.2 の転送速度を 20Gbps・10Gbps・5Gbps の 3 つで示し、20Gbps は 10Gbps のレーンを 2 本使うと説明しています [^c1-5]。ポートが速くても、つないだケーブルが古い規格なら、ケーブルの速度に制限されます。

無線の接続方式 [1201-1.2]

NFC (Near-field communication) は、数 cm の距離で、タグ・カード・ほかの端末と通信します。データ量は少なく、決済、認証、Bluetooth ペ어링の開始に向きます。NFC Forum は、リーダー／ライター、ピアツーピア、カードエミュレーションなどの動作モードを挙げ、今いちばん使われているのはカードエミュレーション (カードの代わりになる使い方) だとしています [^c1-3]。

Bluetooth は 2.4 GHz の ISM 帯を使う近距離無線です。Bluetooth SIG によると、クラシックは 79 チャンネル、Low Energy (LE) は 40 チャンネルを使います [^c1-6]。クラシックは音声のストリーミングに、省電力の LE はセンサーや位置の追跡に向きます。届く距離は、送信の出力 (クラス) と、壁や人の体などの

周りの環境で変わり、出力の大きいクラスほど遠くまで届きます。Wi-Fi と同じ 2.4 GHz を使うため、混み合う場所では干渉して途切れます。

テザリング(Tethering) は、スマートフォンのモバイル回線を、ほかの機器に共有する機能です。手段は 3 つ。Wi-Fi の電波を出すホットスポット、USB ケーブル、Bluetooth。共有した通信量は、スマートフォンの契約のデータ上限に数えます。

アクセサリー [1201-1.2]

スタイラスは、画面に書くペンです。先が太い簡易タイプ(受動式。指と同じく静電容量で画面に反応する静電容量式)と、筆圧と傾きを検知するアクティブタイプ(能動式)があります。アクティブタイプには、Bluetooth のペアリングや充電が要る機種があります。

ヘッドセットは、マイクとスピーカーを一体にした装置。有線は 3.5 mm の 4 極プラグ(TRRS)か USB 接続で、無線は Bluetooth が主流です。音は出るのに自分の声が相手に届かない場合は、OS が入力装置を別の物に選んでいる例が多くあります。スピーカーの接続は、有線、Bluetooth、Wi-Fi の 3 通りです。ウェブカメラは USB 接続の外付けが標準で、ノート PC 内蔵のカメラが不調な時の代わりにもなります。

ドッキングステーションとポートリプリケーター、入力装置 [1201-1.2]

ドッキングステーション(Docking station) は、ノート PC を 1 本のケーブルが専用の端子でつなぐと、外付けディスプレイ、LAN、USB 機器、給電をまとめて使える装置(机に据え置く用途)。拡張カードやドライブを備えた機種もあります。ポートリプリケーター(Port replicator) は、ノート PC のポートをそのまま複製して増やす簡易版で、増えるのは同じ種類のポートです。ドックは機能の拡張が多め、ポートリプリケーターは同じポートを増やすだけ、と区別します。

入力装置は 3 つあります。トラックパッドは、ノート PC に内蔵された、指で操作する板。ドローイングパッド（ペンタブレット）は、筆圧つきのペンで描く外付けの板です。トラックポイント（track points）は、キーボードの中央にある赤い突起で、指で押してカーソルを動かします。

接続と周辺機器の場面 [1201-1.2]

場面で確かめる。USB-C の充電器とケーブルでノート PC をつないでいるのに、充電が遅い場合は、充電器の出力が足りないか、ケーブルが大きな電力に対応していないかです。USB-C は形が同じでも、運べる電力と速度がまちまちなので、ケーブルと充電器の両方の定格を見ます。

USB-C ポートにディスプレイをつないでも映らない場合は、そのポートが映像出力に対応しているかを確認めます。形が USB-C でも、データと充電しかできないポートがあります。映像に対応するポートは、仕様書で確認めます（DisplayPort の表記）。

Bluetooth のイヤホンが途切れる場合は、距離、体や壁による遮蔽、2.4 GHz の干渉を疑います。Wi-Fi ルーターや電子レンジが近いと、混み合います。

NFC 決済が読み取れない場合は、NFC が設定でオフではないか、金属製のケースやカード入れが電波を遮っていないか、コイルの位置（機種により背面の上部や中央）に端末をかざしているかを確認めます。距離は数 cm 以下（触れるほど近く）。

ドッキングステーションにつなぐと、モニターは映るのに有線 LAN だけ使えない場合は、ドックの LAN 機能のドライバーが入っていないことが原因です。ドックは、ポートごとにドライバーが要る装置があります。ポートリプリケーターは、元のポートをそのまま増やすだけなので、この種の追加機能は持ちません。

テザリングで PC がつながらない場合は、スマートフォン側のホットスポットが入っているか、パスワードが合っているか、PC が 5 GHz に対応していないのに 5 GHz に設定していないかを確認めます。つながっても遅い場合は、契約のデータ上限を超えて速度が制限されている可能性があります。

回線・Bluetooth・位置情報・MDM・同期の設定 [1201-1.3]

モバイル回線と SIM、Wi-Fi、ホットスポット [1201-1.3]

モバイル回線は世代で呼びます。3G は UMTS/HSPA 系、4G は LTE、5G は NR (New Radio) です。3GPP は、5G を Release 15 から定めたシステムと説明しています[^c1-7]。5G には、既存の LTE の設備を使う構成 (Non-Standalone) と、5G 専用のコアにつなぐ構成 (Standalone) があります。

SIM (Subscriber Identity Module) は、回線の契約情報を持つチップです。物理カードは nano-SIM が標準です。eSIM は、端末に内蔵したチップへ事業者が回線情報を書き込む方式で、カードの差し替えがなく、1 台に複数の回線を入れられます。物理 SIM と eSIM の併用は、デュアル SIM の 1 形態 (2 回線を同時に待ち受け)。

有効化と無効化の考え方は 4 つあります。機内モードは無線をすべて止めますが、止めたあとで Wi-Fi と Bluetooth だけを個別に入れ直せます。モバイルデータをオフにすると、Wi-Fi に接続していない間は通信できません。海外で高額な請求を避けたい時は、データのローミングをオフにします。ホットスポットは、モバイルデータがオンでないと共有できません。

Bluetooth のペアリング手順 [1201-1.3]

Bluetooth の接続は、次の順に進めます。並べ替えの問いは、この順序が正解です。

1. Bluetooth を有効にする。
2. 相手側をペアリング可能な状態にする (ペアリングモード)。
3. こちらから接続できる機器を探す (検出)。
4. 一覧から対象を選び、PIN コードを入力するか、表示された数字の一致を確認する。
5. 接続を確かめる (音を出す、キーを打つなどで動作を試す)。

つながらない時は、距離が遠い、相手が別の端末に接続中で空いていない、2.4 GHz の干渉がある、の順に確かめます。以前のペアリング情報が壊れている場合は、一覧から機器を削除して、手順 1 から結び直します。

位置情報サービス [1201-1.3]

位置情報サービスは、GPS (人工衛星の電波) に加え、携帯電話の基地局 (セルラー) と Wi-Fi の情報でも位置を求めます。GPS は屋外で精度が高く、屋内では衛星の電波が届きにくくなります。基地局と Wi-Fi の方式は屋内でも働き、精度は GPS より粗くなる (屋内向きの補い)。Apple は、位置情報の許可をアプリごとに設定できると案内しています^[^c1-8]。許可の段階には、「1 度だけ許可」「App の使用中は許可」があり、常に許可する設定や、許可しない設定も選べます。「1 度だけ許可」は、その 1 回の利用の間だけ位置を使わせません。範囲は、許可しない、1 度だけ、使用中、常に、の順に広がります。

地図アプリが現在地を出せない場合は、位置情報サービス全体がオフでないか、そのアプリの許可がないかを、この順に確かめます。全体がオフの間は、アプリの許可を「常に」にしても位置は取れません。屋内でずれるなら、Wi-Fi と基地局による補助が効いているかを見ます。設定を直したら、地図アプリで現在地を開いて確かめます。端末を探す機能も、位置情報がオンであることが前提です。

モバイルデバイス管理(MDM) [1201-1.3]

MDM (Mobile Device Management) は、会社が従業員のスマートフォンやタブレットを遠隔で管理する仕組みです。管理者は、構成プロファイルで Wi-Fi、VPN、メール、パスコードの条件を配る。紛失時はリモートワイプ(遠隔消去)をかけます。Apple は展開の手順を Platform Deployment ガイドにまとめています[^c1-9]。

端末の所有の形は 2 つに分けます。会社所有 (Corporate) の端末は、会社が全体を管理でき、設定の強制も消去も端末全体にかけられます。BYOD (Bring Your Own Device) は、従業員の私物を業務に使う形で、会社が管理する範囲を業務データに絞ります。私物の写真やアプリまで消去すると問題になるため、業務のアプリとデータを分けて管理する仕組み(業務用プロファイル、コンテナ)を使います。

ポリシーの強制 (Policy enforcement) は、管理者が決めた条件に端末を従わせること。代表例は、パスコードの長さの下限、画面ロックまでの時間、ストレージの暗号化、使えるアプリの制限です。条件を満たさない端末は、社内のメールや資料につなげなくなります。会社のアプリ (Corporate applications) は、MDM から配信し、管理者が更新と削除を行います。

場面で確かめます。従業員が私物のスマートフォンで会社のメールを使っていて、その端末を紛失した場合は、BYOD なので、会社が消去できるのは業務データだけ(私物の写真は対象外)。端末全体の消去は、会社所有の端末に対する対処です。

モバイルの同期 [1201-1.3]

同期の対象は、カレンダー、連絡先、メール、クラウドストレージです。メールの受信は IMAP (143、TLS 付きは 993) か POP3 (110、TLS 付きは 995)、送信は SMTP (提出用は 587) です。IMAP はサーバー上のメールをそのまま見るの

で、複数の端末で状態がそろいます。POP3 は端末へダウンロードして、既定ではサーバーから消すので、端末間でそろいません。

データ上限 (data caps) は、契約したモバイル通信量の月ごとの上限です。超えると、速度が落ちるか追加料金がかかります。動画や写真の自動アップロード、大きなクラウド同期は上限を食うので、同期は Wi-Fi の時だけに限る設定を使います。

同期が止まる原因は 5 つです。パスワードの変更、再認証が要る状態、ストレージの空き不足、同期設定のオフ、ネットワークの不通 (この 5 つ)。メールだけが更新されない時は、アカウントの再認証とサーバー設定を先に確かめます。

設定と同期の場面 [1201-1.3]

eSIM の有効化は、事業者が示す QR コードを端末で読み取るか、事業者のアプリで申し込む順で進めます。回線のプランを端末に追加したあと、モバイルデータの通信に使う回線と、通話に使う回線を選びます。物理 SIM と eSIM を併用する場合は、片方をデータ通信用、もう片方を通話用にする使い方があります。

場面で確かめる。海外へ出張する従業員が、現地の高額な請求を避けたい場合は、モバイルデータのローミングをオフにして、ホテルの Wi-Fi か現地の回線 (eSIM) を使います。機内モードにすると、無線は止まりますが、そのあとで Wi-Fi だけを入れ直せば、ローミングの費用を出さずにメールを使えます。

Bluetooth のペアリングが失敗する場合は、機器同士が 1 m ほどに近いか、相手がペアリングモードになっているか、前のペアリング情報が残っていないかを確かめます。表示された数字が一致しているかの確認や、PIN の入力を求められたら、機器の説明書にある値 (0000 や 1234 が多い) を入れます。

位置情報の場面では、アプリの許可を「使用中のみ」にすると、画面を開いている間だけ位置が使われる（常には取られない）。「常に」は、バックグラウンドでも位置を取るので、電池の消費が増えます。屋内で現在地が大きくずれる場合は、GPS の電波が弱いので、Wi-Fi と基地局の補助を有効にします。

MDM の場面では、ポリシーを満たさない端末（パスコードが短い、暗号化が切れている、OS が古い）は、会社のメールに接続できなくなります。端末を直して条件を満たせば、また使えます。会社所有の端末なら、管理者が紛失時に端末全体を消去できる。私物で BYOD の端末では、消去が業務のデータとアプリに限られます。

同期の場面では、スマートフォンのカレンダーに予定が出ない時、アカウントの再認証が必要になっていないかを見ます。メールが一部の端末だけに届かない場合は、POP3 でダウンロードして消す設定になっていないかを確認、IMAP にすれば、すべての端末で同じ状態になります。

サンプルはここまでです

続き(第2章～巻末)は、A+ 問題集のご購入で、頻出度別ノート・暗記用ノートと合わせて3点すべてダウンロードできます。

SAMPLE

CompTIA A+ (Core 1・Core 2) 学習用テキスト(無料サンプル)

版

2026年10月版(CompTIA A+ Core 1 (220-1201)・Core 2 (220-1202) Exam Objectives
Version 4.0 (V15) 準拠)

発行

IT資格道場(<https://www.shikaku-doujou.com>)

お問い合わせ

info@shikaku-doujou.com

CompTIA、A+、および関連するロゴ・認定名は、CompTIA(The Computing Technology Industry Association, Inc.)の商標または登録商標です。記載されているその他の会社名・製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本教材は公式シラバスの内容を基に作成したもので、CompTIAとの提携・承認関係はありません。

本文・図表・設問はすべてオリジナルの著作物です。無断での転載・複製・再配布・二次販売はできません。
お気づきの点は info@shikaku-doujou.com までご連絡ください。